

右折時の横断自転車の動き

事故を未然に防ぐには、運転中に遭遇するさまざまな交通状況において、危険を予知し的確に回避することが必要です。予測される危険や、それを避けるための運転について考えてください。



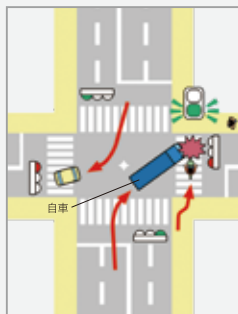
交通状況

- あなたは信号交差点を右折しようとしています。
- 荷物を満載し、配送先に向かう途中です。
- 対向車線には、直進車はなく、対向の右折車線にいた車も右折を開始しました。進行方向の歩行者用信号も青点滅を始めました。
- 横断歩道には、歩行者などは見当たりません。

Q どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？

このような危険が！

- A**
- 右折時は対向車のタイミングを見計らいながら、右折しなければならぬことに加え、横断歩道を渡ってくる歩行者や自転車にも注意をしなければなりません。
 - 大型車はホイールベースが長いことから内輪差が大きくなるだけでなく、停止からの発進には乗用車と比べ時間がかかり、安全確認をしたつもりでも状況が変化している場合があります。
 - 特に右後方から横断歩道を渡る自転車は視界やバックミラーに入らないこともあり、前方だけに目を向けていると衝突する危険があります。



このような運転を！

- A**
- 歩行者用信号が点滅している横断歩道では、歩行者や自転車が急いで渡ろうとすることがあるので、その動きに十分注意して運転する必要があります。
 - 運転者の死角に入りやすい、右後方から横断歩道を渡ろうとする歩行者や自転車がいらないか、首を振って安全確認をするともに、横断歩道直前では十分速度を落とし加速しないようにしましょう。